年間授業計画

高等学校 令和7年度（１学年用） 教科　地理歴史　　科目 地理総合

教　科：地理歴史　　科　目：地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　D　組

教科担当者：（A組：　中　）　（B組：　中　）　（C組：　中　）　（D組：　）

使用教科書：（　　わたしたちの地理総合　世界から日本へ　：　二宮書店　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義，関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察する。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象に関する課題を主体的に解決しようとしている

科目　地理総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・地球規模の自然システムや社会・経済システムに関して理解する。 ・調査や地図，統計などの諸資料から地理に関する情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。	・地理に関わる諸事象の意義や意味，特色や相互の関連について多面的・多角的に考察したり，地域課題の解決を構想する力を身に付ける。 ・考察・構想したことについて適切な表現方法を選び効果的に説明したり，議論したりする力を身に付ける。	・地球規模の自然システムや社会・経済システムに関して主体的に調べ分かろうと意欲的に追求しようとする態度を身に付ける。 ・よりよい社会の実現に向けて地球的，地域的課題を意欲的に追求しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	地図とGISの活用 【知識・技能】 地球上での位置，時差の計算，図法，領域について理解させる。 【思考・判断・表現】 地図を活用して地球上での位置を確認し，時差の計算できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 統計資料を読み取り，そこから現代社会の課題を見つけ，さらに学習の「問い」を立てられるようにする。	【地図とGISの活用】 １球面上の世界 ２日本の位置と領域 ３国内や国家間の結び付き ４暮らしの中の地図とGIS ・一人１台端末の活用 →formsを用いた振り返り デジタル地図を用いた学習	【知識・技能】 地球上での位置，時差の計算，図法，領域について理解できる。 【思考・判断・表現】 地図を活用して地球上での位置を確認し，時差の計算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 統計資料を読み取り，そこから現代社会の課題を見つけ，さらに学習の「問い」を立てることができる。	○	○	○	8
	生活文化の多様性と国際理解 【知識・技能】地形および気候の特徴及び分布について理解させる。。 【思考・判断・表現】 地形と気候の関わりについて資料を基に考察できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形と気候に関わる課題から学習の「問い」を立て，それに対し追求できるようにする。	【自然環境と生活文化】 １地形と生活文化 ２気候と生活文化 ・一人１台端末の活用 →formsを用いた振り返り	【知識・技能】地形および気候の特徴及び分布について理解できる。 【思考・判断・表現】 地形と気候の関わりについて資料を基に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形と気候に関わる課題から学習の「問い」を立て，それに対し追求できる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	生活文化の多様性と国際理解 産業および宗教の特徴及び分布について理解させる。 【思考・判断・表現】 自然環境と産業の関わりについて資料を基に考察できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 宗教に関わる身近な課題から学習の「問い」を立て，それに対し追求できるようにする。	【言語・宗教と生活文化】 １産業と生活文化 ２宗教・言語と生活文化 ・一人１台端末の活用 →formsを用いた振り返り	【知識・技能】 産業および宗教の特徴及び分布について理解できる。 【思考・判断・表現】 自然環境と産業の関わりについて資料を基に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 宗教に関わる身近な課題から学習の「問い」を立て，それに対し追求できる。	○	○	○	4
	グローバル化と生活文化 経済発展の特徴とそれが人々の生活にもたらした変化について理解させる。 【思考・判断・表現】 複数の資料から各国が抱える課題を正しく捉えることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 複数の資料から各国の課題（経済格差，貿易摩擦）を捉え，学習の「問い」を立てることができるようにする。	【グローバル化と生活文化】 １経済発展と生活文化～東アジア ２宗教の多様性と生活文化～ASEAN諸国 ・一人１台端末の活用 →formsを用いた振り返り	【知識・技能】 経済発展の特徴とそれが人々の生活にもたらした変化について理解できる。 【思考・判断・表現】 複数の資料から各国が抱える課題を正しく捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 複数の資料から各国の課題（格差，貿易摩擦）を捉え学習の「問い」を立てることができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2学期	グローバル化と生活文化 【知識・技能】 地域の特徴とそれが人々の生活に与える影響について理解させる。 【思考・判断・表現】 複数の資料から各地が抱える課題を正しく捉えることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 複数の資料から各地域の課題（カースト制，石油依存，貧困，格差）を捉え，学習の「問い」を立てることができるようにする。	【グローバル化と生活文化】 ３水の恵と生活文化～南アジア ４イスラーム社会の多様性と生活文化～西アジア ５多様な気候と生活文化～アフリカ ６経済統合による生活文化の変化～EUと周辺諸国 ・一人１台端末の活用 →formsを用いた振り返り	【知識・技能】 地域の特徴とそれが人々の生活に与える影響について理解できる。 【思考・判断・表現】 複数の資料から各地が抱える課題を正しく捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 複数の資料から各地域の課題（カースト制，石油依存，貧困，格差）を捉え，学習の「問い」を立てることができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	地球課題と国際協力 【知識・技能】 主題図から資源・エネルギーや人口，食料が偏在していることを理解させる。 【思考・判断・表現】 資源・エネルギー問題や人口・食料問題，都市問題について資料を基に考察できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料から資源・エネルギーや人口，食料分布を読み取り学習の「問い」を立て，それに対し追求できるようにする。	【地球的課題と国際協力】 １地球環境問題 ２資源・エネルギー問題 ３人口・食料問題 ４居住・都市問題 ・一人１台端末の活用 →formsを用いた振り返り	【知識・技能】 主題図から資源・エネルギーや人口，食料が偏在していることを理解できる。 【思考・判断・表現】 資源・エネルギー問題や人口・食料問題，都市問題について資料を基に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料から資源・エネルギーや人口，食料分布を読み取り学習の「問い」を立て，それに対し追求できる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3学期	生活圏の課題 【知識・技能】 日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できる。 【思考・判断・表現】 日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境の特徴と自然災害から「問い」を立て，それに対し追求できるようにする。	【生活圏の課題】 １日本の自然災害と防災 ・一人１台端末の活用 →formsを用いた振り返り	【知識・技能】 日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できる。 【思考・判断・表現】 日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境の特徴と自然災害から「問い」を立て，それに対し追求できる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	生活圏の課題 【知識・技能】 災害のしくみや特徴，地域性，防災への取り組み方や課題を理解させる。 【思考・判断・表現】 ハザードマップから地域の危険性を正確に捉えることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の住む地域のハザードマップから課題を捉え適切なマイタイムラインを作成させる。	【生活圏の課題】 ２生活圏の課題と地域調査 ・一人１台端末の活用 →formsを用いた振り返り 各自治体HPにおけるハザードマップの活用	【知識・技能】 災害のしくみや特徴，地域性，防災への取り組み方や課題を理解できる。 【思考・判断・表現】 ハザードマップから地域の危険性を正確に捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の住む地域のハザードマップから課題を捉えマイタイムラインを作成しようとしている。	○	○	○	5 合計 70